

2023年度 三重大学人文学部

学校推薦型選抜（推薦A）（法律経済学科）

課題作文

【注意事項】

1. 解答時間は90分です。
2. 配付物は以下のとおりです。

問題用紙	3枚
解答用紙	3枚
下書用紙	3枚
3. 解答用紙には、それぞれ受験番号欄が付されています。
4. 解答用紙の指定された欄にそれぞれ必ず受験番号のみ記入してください。
氏名は記入しないでください。
5. 解答用紙（横書き）に記入する際に、行末に句読点がかかる場合は
次の行の最初の1マス目に記入してください。
6. 試験場で配付された問題用紙、下書用紙は持ち帰ってもかまいません。

課題作文 問題用紙 (1枚目)

【問題】 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

著作権の関係上、公開しません。

(→2枚目につづく)

課題作文 問題用紙（2枚目）

著作権の関係上，公開しません。

（→3枚目につづく）

課題作文 問題用紙 (3枚目)

出典 宮下 紘『プライバシーという権利—個人情報なぜ守られるべきか』岩波新書 (2021年) p170-p178
(問題作成のため、一部改変)

(注1) 潜脱:一定の手段とその結果を法が禁止している場合、禁止されている手段以外の手段を用いて結果を得て、法の規制を免れること。(大辞林)

(注2) GDPR (General Data Protection Regulation): EU 一般データ保護規則。EU (欧州連合) の個人情報保護法制。個人データの処理に関する個人の保護、および個人データの自由な流通のための規則を定めたもので、EU 加盟国に直接適用される。EEA (欧州経済地域) から第三国や国際機関に個人データを移転する場合には所定の手続きが必要となる。2016年発効。2018年施行。(大辞林)

問1 人間介入の権利とは、どのような権利であり、人間中心のアプローチを個人情報保護法制において具体的に反映する場合、その権利が最も重要となるのはなぜか。その権利の欠落はどのような問題を生み出すか、述べなさい。(300字程度)

問2 AI 技術を用いたデータの利活用に関連する日本の個人情報保護法制の課題を挙げ、その解決に関するあなたの考えを述べなさい。あなたの考えについては、挙げられている諸課題のうち、特定の点に絞って述べてもよい。(450字程度)